



# 渋谷で学ぶ 神職を目指す

神職子女向けリーフレット

## 國學院大學 神道文化学部

**神職子女奨学金制度による支援！**  
 神道・宗教特別選考入学試験で入学した新入生全員に奨学金を給付します。 **返済不要**  
 新入生：自宅外通学者40万円、自宅通学者20万円(全員、年額)  
 2~4年次：10万円(学業成績上位20名以内、年額)

**第2祭式教室が竣工予定！**  
 平成27年10月、待望の第2祭式教室が竣工し、「祭式の國學院」の教育環境が一層充実します。

# 奉職の國學院



寒川神社 出仕  
今野 僚也さん

## 母校での学びを糧として 立派な神職を目指します

私は秋田県の神職の家に生まれました。大学進学を前にして、父に経済的負担をかけてしまうことを申し訳なく思っていました。フレックス奨学金と神社実習制度を併用することで、経済的な問題をクリアすることができたのです。

入学後、昼は御奉仕を兼ねた実習、夜は大学での学修という生活を送りました。実習先の靖國神社の神職の方々には、本当にお世話になりました。実習では、朝の清掃に始まり、授与所や参拝者接遇等の社頭奉仕、神饌の調理、紙垂奉製等、さまざまな経験を積ませていただきました。

夜間主にはどこか家族的な雰囲気があります。仲間とお互いの悩みなども相談し合いながら、とても充実した4年間を過ごすことができました。おかげさまで、相模国の名社、寒川神社に奉職させていただくことができました。実習生の経験無しに、今の自分はありません。目下、一人前の神職を目指して、ひたすら神明奉仕に勤しむ日々です。



川越氷川神社 出仕  
押田 美沙紀さん

## ずっと神職に憧れてきました。おかげさまで 女子神職としてのご奉仕がかないました

小学生のころから地元の神社のお囃子のメンバーになるなど、神社の祭礼に親しんできた私は、「いずれは神道や日本の伝統文化を専門的に学びたい」と考えるようになりました。大学進学に際して、本格的に神道を学べる学部を選んだのは、私にとって、ごく自然な選択だったのです。

入学後は貴重な経験の連続でした。1年次の武田先生の「古典講読I」では『古事記』の神々の躍動に心底圧倒されました。2年次の明治神宮での実習では、夜間の大前での大祓詞奏上がとりわけ感銘深い体験でした。3年次は山形県の出羽三山神社で、大自然の山懐に抱かれながら実習させていただきました。4年次の伊勢の神宮での実習では、神話そのままの神宮の佇まいにとっても感動しました。

これからは、神道文化学部での学修を活かし、女子神職としてご奉仕に勤しんでいきたいと願っています。

## 全国各地からの求人と抜群の奉職実績

神道文化学部では、男女を問わず、毎年多くの求人数と奉職数を達成。神職や巫女、事務職(神社庁等)での採用実績が光ります。

**神社関係奉職先一覧 (平成26年度)** ※下記に掲げたのはごく一部です。毎年採用実績は変わっています。

神宮司廳、竹駒神社、茨城県神社庁、大洗磯前神社、大杉神社、笠間稲荷神社、宇都宮二荒山神社、三峯神社、大國魂神社、神田神社、(株)神社新報社、日枝神社、明治神宮、明治神宮崇敬会、靖國神社、湯島天満宮、寒川神社、鶴岡八幡宮、鎌倉宮、箱根神社、白山神社、白山比咩神社、諏訪大社、来宮神社、静岡浅間神社、三嶋大社、白山宮、猿田彦神社、賀茂別雷神社、賀茂御祖神社、城南宮、伏見稲荷大社、吉田神社、大阪天満宮、檀原神宮、春日大社、日前神宮國懸神宮、吉備津神社、出雲大社、住吉神社、宮崎宮

## 平成28年度 推薦・特別選考入試日程

入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表	入学手続期間(消印有効)
<b>神道・宗教特別選考</b> 「神社本庁包括下の神社」及び「神道系教団」の後継者を対象とした入試です。	8/27(木)～9/2(水)	1次：書類選考	1次：9/11(金)	9/28(月)～10/2(金)
		2次：9/19(土)	2次：9/25(金)	
<b>神職養成機関普通課程特別選考</b>	8/27(木)～9/2(水)	9/19(土)	9/25(金)	9/28(月)～10/2(金)
<b>公募制自己推薦(AO型)</b> 「神道文化学部でぜひとも神道文化・宗教文化を学びたい」という強い意欲を抱く志願者を選抜します。	10/1(木)～10/7(水)	1次：書類選考	1次：10/23(金)	11/20(金)～11/27(金)
		2次：11/8(日)	2次：11/19(木)	
<b>神道学専攻科</b> 4年制大学を卒業した神職子女が、1年間で神職資格(明階検定合格、正階授与)取得を目指す課程です。	10/8(木)～10/14(水)	11/22(日)	12/1(火)	12/3(木)～12/10(木)
<b>別科神道専修 Ⅰ類・Ⅱ類</b> 高等学校の卒業者が、神職資格取得を目指す課程です。	2/4(木)～2/10(水)	2/23(火)	2/29(月)	3/1(火)～3/7(月)

※出願資格など詳しい入試の情報については、國學院大学ホームページをご覧ください。本学入学課(電話03-5466-0141)へお問い合わせください。志願される方はお早めに「入学試験要項」を入学課までご請求ください。

説明会

## 神道・宗教特別選考を志望する方々へ —— 入試説明会のお知らせ

本学では、(1)神社本庁所属神社の神職、またその家系の子で、継承者となる方々、もしくは、(2)神道系宗教団体の子女で、将来、後継者となる方々を対象にして、「神道・宗教特別選考」という推薦入試制度を設けています。この推薦入試に関する説明会を、渋谷キャンパスのオープンキャンパスで実施します。日程は、下記のとおりです。「神道・宗教特別選考」を希望される方は、ぜひ御参加ください。

**5月17日(日)、7月19日(日)、8月22日(土)** ※いずれも、渋谷キャンパスで行います。

お問い合わせ：入学課 電話 03-5466-0141

# 奨学金の國學院

■神職子女奨学金(神道・宗教特別選考入学者)・フレックス奨学金(フレックスA・夜間主入学者)による経済的サポート!



フレックスA(夜間主)2年生  
森 健次郎さん



フレックスA(夜間主)2年生  
春田 華奈さん

成人加冠式で



若木祭で

## 國學院大學の奨学金制度・神社実習制度を 活用して経済的な心配なしに神職を目指しています

私は伊勢の神職の家に生まれました。兄弟は3人で、かねてから父に経済的負担をかけてしまうことを心苦しく思っていました。そんな折、神道文化学部リーフレットで、國學院大學の奨学金制度・神社実習制度のことが知ったのです。奨学金による行き届いた経済的サポートと共に、神社実習で現場での実践を学べるということにも、非常に魅力を感じました。

現在、私は、フレックスA(夜間主)の2年次に在籍し、授業料半額相当を給付する「フレックス奨学金」及び「神職子女奨学金」の支給をうけながら、勉学に勤んでいます。さらに「学部神社実習生」として、靖國神社で実習をさせていただいております。おかげさまで下宿代や食費も不要で、授業料相当額の支給や、別途手当等も頂戴しています。

経済的な心配を抱えている志願者のみなさん。奨学金制度・神社実習制度を活用し、立派な神職を目指して、共に切磋琢磨していきましょう。

## フレックスA(夜間主)でフレックス奨学金の支給を うけながら学んでいます

私には姉妹がいるので、学費の負担をなるべく減らしたいと思い、フレックス奨学金制度のあるフレックスA(夜間主)に入学しました。昼間は神社で助勤をさせていただき、夜には大学で学修に勤む毎日です。おかげさまで経済的な不安を抱くことなく、学生生活を満喫しています。

大学には神道・宗教に関する多くの授業があり、2年間の学びを通して、神道文化や宗教文化を学ぶための基礎学力をしっかりと培うことができました。授業以外にも、祭式や雅楽を学ぶサークル「瑞玉會」に入り、日々研鑽に努めています。

経済的な不安を抱える志願者のみなさんに、本学夜間主でのフレックス奨学金を活用した学修を、ぜひとも奨めたいと思います。

### メッセージ

武田 秀章学部長  
(「古典講読1」ほか担当)



観月祭にて

森さん・春田さんは、いずれも本学の奨学金を活用しながら、立派な神職を目指して学修に勤む末頼もしい学生さんです。本学では、かねてから神職子女を経済的にしっかりとサポートする奨学金制度が整えられています。さらには近年、神道・宗教特別選考入試で入学した学生を対象とする新しい奨学金制度も発足しました。神道文化学部では、こうした奨学金制度の支援を得ながら、神職を目指す学生諸君が数多く学んでいます。志願者のみなさん、貴重な青春の四年間、神職を目指して、共に学びましょう。教員一同、みなさんの入学をお待ちしています。

## 奨学金制度

1年次は  
全員支給

神道・宗教特別選考新入生対象 返済不要

神職子女奨学金 ……[1年次生] 自宅外通学者 40万円/自宅通学者 20万円支給(全員)  
……[2年次以上] 自宅外・自宅通学者ともに年額 10万円支給(学業成績の上位 20名以内)

詳しくは本学ホームページ「入試情報に関するお知らせ」でご案内します。 <http://www.kokugakuin.ac.jp/admission/nyugaku0300166.html>

夜間主学生対象 返済不要

國學院大學フレックス特別給付奨学金 ……後期分授業料・施設設備費相当額支給\*

経済的理由による修学困難者対象 返済不要

國學院大學修学支援奨学金制度 ……40万円・30万円・15万円支給\*  
特例給費奨学金制度 ……上限50万円支給

2年生以上の成績優秀者対象 返済不要

國學院大學成績優秀者奨学制度 ……最優秀者は授業料相当額、優秀者は30万円もしくは15万円支給

神社界からの奨学金

神社本庁育英奨学金 ……30万円支給(2年生以上) ※条件あり

伏見稲荷大社奨学金 ……12万円支給 返済不要

全国敬神婦人連合会育英奨学金 ……15万円支給(女子学生のみ、2年生以上) 返済不要

\*応募者全員採用実績あり

## 学部神社実習生制度

学費・生活費不要。東京都内で神明奉仕 ※男子学生のみ

実習神社(一部、平成26年度)

穴八幡宮、牛嶋神社、大國魂神社、大宮八幡宮、小野照崎神社、亀戸天神社、子安神社、浅間神社、鐵砲洲稲荷神社、東京大神宮、富岡八幡宮、日枝神社、明治神宮、靖國神社

実習生の主な奉職先(一部、平成23~26年度)

青森縣護國神社、仙台東照宮、笠間稲荷神社、茨城県神社庁、清瀧神社、井草八幡宮、金王八幡宮、東京大神宮、富岡八幡宮、鶴岡八幡宮、諏訪大社、三嶋大社、賀茂別雷神社、賀茂御祖神社、平安神宮、湊川神社、吉備津神社、太宰府天満宮、福岡縣護國神社

# 神職子女の学び舎、 國學院



若木祭で

■ 神道文化学部で、神職子女の学びの輪に加わろう! 「わかりあえる仲間」と共に学ぼう!



黒崎浩行教授ゼミ



フレックスB(昼間主) 3年生  
原 健さん

## 「わかりあえる仲間」と共に学ぼう!

神道文化学部には、私と同じように神職を志す学生が、全国から集まってきます。同じ社家の境遇に生まれた「わかりあえる仲間」と共に学べるのは、とても心強いことです。学友たちは、さまざまな地域の出身なので、神社や神道の多様な「お国ぶり」について学ぶことも少なくありません。

私は、かねてから「現代社会と神社の関わり」について興味があり、黒崎浩行先生の「宗教学演習」のゼミに入りました。ゼミでは、東日本大震災に際しての神社や宗教施設の活動、祭りと地域社会の関わりなどの問題について、学生同士で発表したり、議論を交わし合ったりしています。

私の出身地である大阪府岸和田市は、「だんじり祭り」が盛んなところで、毎年多くの観光客が訪れます。私は「だんじり祭り」における地域住民と祭りとの関わりについて実地調査を行い、演習論文を作成する予定です。卒業後は、大学の学びで得たものを、ぜひとも地域社会のなかで活かしていきたいと願っています。

## 神道文化学部で、共に目標を目指して 頑張りましょう

私が神道文化学部に入學した動機は、父が神職を務める姿を、幼い頃から見てきたからです。子供時代、父から、神道に関わるさまざまなお話を聞かされて育ちました。遊び場は、いつも神社の境内でした。気が付くと、自然にこの道に進もうと志していたのです。

入學してまず驚かされたことは、自分の取り巻く環境の急激な変化でした。授業の取り方、時間の使い方など、はじめての事ばかりで、最初はとても戸惑いました。しかし学友たちと学びを共にしていく中で、さまざまな交流が生まれ、交友の輪が広がりました。今は大学生活を心からエンジョイしています。

3年次以降の演習科目では、ハーバード大学に留學経験のある菅浩二准教授のゼミに入りました。わが国の伝統文化の探究と共に、諸外国の宗教文化への理解も深めています。

志願者のみなさん、神道文化学部で、共に目標に向かって頑張りましょう。



観月祭で



フレックスB(昼間主) 3年生  
大丸 美鈴さん



武田秀章教授ゼミ



フレックスB(昼間主) 4年生  
坂本尚文さん

## 立派な神職となって、 先祖代々の神社を守りたいと願っています

私は幼い頃から御神前で奉仕する父の後ろ姿を見て育ち、「将来は自分も立派な神職になりたい」という思いが年々強まっていきました。國學院大學は、父や祖父、親戚の叔父さんたちも学んだ「一族の母校」でもあり、私もごく自然に同じ進路を考えるようになったのです。

神道文化学部では、全国から集まった多くの神職子弟が学んでいます。みんな「神職の道」を目指す大切な「同志」です。神道文化学部入學によって「かけがえない仲間」と出会い、生涯続くであろう「友情の絆」を結び合わせることができたことは、私にとって大変嬉しく、また心強いことでした。

3年次からは武田秀章先生の「神道史学演習」(ゼミ)に入り、神道と武道の関わりについて研究しています。演習では、先生の親身なご指導のもと、ゼミ仲間の温かい(時に厳しい)助言も受けながら、自分ならではの研究テーマをじっくりと追求できます。

神社に関係のある人も、神社に関わりの無かった人も、この素晴らしい学部で共に学び、これからの神社を支えていく「同志」として、一緒に羽ばたいていきたいと思います。



祭式教室

## 祭式カリキュラム

### 2年次 基礎を固める



「神社祭祀演習Ⅰ」では、祭典を実践する上で基礎となる行事・作法の要点を習得します。複数の祭式補助員が学生をしっかりサポートします。

### 3年次 応用を学ぶ



「神社祭祀演習Ⅱ」では、全体的な練習を通じて、各人が大祭式を奉仕できるようにします。また「宗教音楽研究Ⅰ・Ⅱ」が開講されており、雅楽についての知識や技能を習得することもできます。

### 4年次 発展的な学修



「神社祭祀演習ⅢA」では、祭典奉仕に必要な職故実の知識と、装束著装の技術を学びます。「神社祭祀演習ⅢB」では、祭式作法の総仕上げとともに、諸祭についての実践的な指導を行います。



「神社祭祀演習Ⅰ」(2年次)



「神社祭祀演習Ⅱ」(3年次)



「神社祭祀演習ⅢA・ⅢB」(4年次)

### 「神社祭祀演習Ⅱ」(3年次)を履修中



フレックスB(昼間主) 3年生  
宮澤 悠紀子さん

### 仲間たちとのチームワーク、助け合いで、 時処位に応じた作法が身につきました

私は東京都内の社家の出身です。幼い頃から実家の神社で奉仕してきました。

神道文化学部では、2年次の「神社祭祀演習Ⅰ」に続き、3年次、「神社祭祀演習Ⅱ」を履修しています。「神社祭祀演習Ⅱ」では、基礎作法の修得を前提として、いよいよ総合祭典の実修に入りました。祭式教室の授業はとてすがすがしく、いつも身が引き締まる思いです。仲間たちとのチームワーク・助け合いで、徐々に時処位に応じた作法が身についてきたように思います。

これからも祭式作法の実修を通して、神さまへの御奉仕のこころを、いっそう研ぎ澄ましていきたいものと願っています。

### 「神社祭祀演習ⅢB」(4年次)を履修中



フレックスB(昼間主)4年生  
廣 達哉さん

### どの所役に当たってもきちんと 対応できるようになることが、授業の目標です

4年生となった私は、大学での祭式学修の総仕上げとして「神社祭祀演習Ⅲ」を履修しています。

前期の「神社祭祀演習ⅢA」では、神社の祭祀服・祭祀用具及び調度等の基礎知識とその扱い方について学びました。後期の「神社祭祀演習ⅢB」では、前期の衣紋・有職の学修を踏まえた総合祭典の実修に励んでいます。衣冠・狩衣などの装束をしっかりと着装できること、どの所役に当たってもきちんと対応できるようになること、地鎮祭等の諸祭も奉仕できるようになることが、授業の目標です。

先般、おかげさまで関西圏の名社の奉職内定をいただくことができました。卒業まであとわずかですが、大学で学んだ祭式作法をもう一度しっかりとおさらいし、4月からのご奉仕に備えたいと思っています。

### メッセージ

茂木 貞純教授  
祭式主任



### 平成27年度、いよいよ待望の第2祭式教室が竣工します!

平成27年10月に、いよいよ待望の第2祭式教室が竣工します。本学ならではの充実した施設設備が、一層の充実を見ることになるでしょう。

神社の後継者のみなさん、ぜひとも神道文化学部へ入学して、本学の行き届いた設備を活用してください。共に相携えて学び、次代を担う有為の神職を目指しましょう。

# 祭礼行事の國學院



神道文化学部では、四季折々の年中行事が雅やかに行われています。本学の風物詩、1月の成人加冠式、10月の観月祭を担う学部学生のメッセージをお伝えします。



1月:成人加冠式(学生の成人儀礼)



10月:観月祭(学生が雅楽や舞楽を奉納)

## 成人加冠式 新成人代表の声



フレックスB(昼間主)2年生  
工藤 倭さん



### 今日まで私を育ててくれた両親に、 心からの感謝を捧げたいと思います

大学に入学して一人暮らしをするようになって、今まで自分がいかに親任せで過ごしてきたかということを感じています。今日まで私を育み、このたびの成人加冠式にもわざわざ青森から足を運んでくれた両親には、改めて感謝の思いで一杯です。これからも学生の本分である勉学に励むことはもちろんですが、一人前の社会人としての自立をしっかりと心がけ、郷里の神社の御奉仕にも励み、親孝行に努めたいと思います。

おかげさまで新成人とはなりましたが、これからは甘えの許されない「試練の日々」が続くものと覚悟しております。成人加冠式における新鮮な感動を忘れることなく、どんな困難をも乗り越えていけるよう、精一杯励む所存です。

二十歳の人生の節目を迎え、気持ちを新たにして、これからの人生を歩んで参りたいと願っています。

## 成人加冠式を担う神道文化学部生の声

### 四季折々の古式ゆかしい行事を 一緒に担ってみませんか

成人加冠式では、神道文化学部生はじめ本学学生のボランティアが、その運営に関わっています。私は、「禮法研究会」の一員として、加冠の儀の介添えと、神殿参拝の先導を務めました。おかげさまで、晴れの儀式の大役を無事務めることができました。

神道文化学部では、学部の学生を担い手として、成人加冠式はじめ四季折々の行事が季節感豊かに行われています。

みなさん、神道文化学部に入學して、こうした古式ゆかしい行事を、一緒に担ってみませんか。皆さん方の入學を、心からお待ちしています。



フレックスA(夜間主)2年生  
藤原 瑛月名さん



## 観月祭の舞い手の声



フレックスB(昼間主)3年生  
真弓 明久さん



### 舞台から見た景観は、 言い尽くせないほどの絶景でした

観月祭では、ご縁があつて「人長舞」をご奉仕させていただきました。舞台から見た景観は、到底言い尽くせないほどの絶景でした。あの時の緊張感と昂揚感は、今でも忘れられません。

実家からは祖父母が見に来てくれました。家族の前で自らの舞姿を披露することができたことも、本当にいい思い出となりました。初心者の方に対して、懇切丁寧に指導していただいた先生方に、改めて感謝申し上げたいと思います。

大学にはさまざまな祭礼行事があります。一人のできる行事は、一つもありません。今回の観月祭も、先生方や同級生を始め、多くの方々の協力があったからこそ齎行できました。私は今、そのことをしみじみと実感しています。